

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立唐橋小学校（京都府）

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」

～慶應義塾大学のサイバー防犯ボランティア研究会による情報モラルオンライン授業～

オンライン教室に向けて



<事前打ち合わせ>

慶應義塾大学のサイバー防犯ボランティア研究会の方々と情報モラルオンライン授業の打ち合わせの様子。各学年の児童の実態や課題を伝え、それに合わせて、授業を組み立てていく。事例を紹介してもらい、丁寧に打ち合わせを行い、略案の作成を行った。

<オンライン授業当日>

情報モラルに関するトラブルの事例を挙げ、この後考えるための導入を行う。低学年のテーマは「個人情報」「ゲーム依存」、高学年のテーマは「スマートフォン、SNSとの付き合い方」とした。



<グループワーク>

トラブルが起こった原因やそれに対する対策をグループで話し合い、まとめる。話し合ったことを伝える。

グループワークや話し合いの中で、オンラインゲームやSNSを行うときに気を付けることや守っていることなど事例に沿って具体的な話し合いになった。

